令和６年度（2024年度）
ゆとろぎ協働事業運営市民の会
「事業報告書」

１．令和６年度事業実績・令和７年度事業計画について

（1）事業部会

①芸術鑑賞部会　P.　1
②学習・文化部会　P.　9
③展示部会　P.　15
④情報発信部会　P.　21

（2）サポートグループ

①レセプショニストの会　P.　29
②舞台サポート　P.　35
③植栽管理　P.　39
④保育サポート　P.　43

２．令和６年度・７年度 ゆとろぎ協働事業運営市民の会役員名簿

P.　47

令和７年５月３０日

令和6年度(2024年度)
芸術鑑賞部会
事業報告

令和6年度　事業実績
令和7年度　事業計画

令和6年度　芸術鑑賞部会事業報告

【計画の目標】

・市民ニーズや興味関心の高い企画を検討する。コンサートや舞台鑑賞だけでなく、芸術鑑賞に関する学びや生涯学習へつながる機会とする。
・チラシやイベントガイド、SNS での情報の周知方法を工夫・効率化し、集客率アップを目指す。
・令和5年度は部員数と企画数、スケジュールを再考し、ゆとりある取り組み方が達成できた。6年度は昨年度より増えた企画数を対応できるのか、余裕はあるか等、適正な企画数を探る1年としたい。

◎定着している企画に加えて、新しいジャンルの企画や、市民のニーズを探りながら、他団体との連携なども視野に入れ、より幅広い多様性に富んだ企画を検討、運営していけるよう取り組む。また部員、担当職員、事務局と連携を密にして、事業を進めていく。そして来場者に満足いただけるように企画運営の準備をし、再び足を運んでいただける「ゆとろぎファン」を増やす努力をする。

【成果と振り返り】

総括：

・今年度も昨年度にならい、企画数を絞り、ゆとりある取り組みとした。そのため、次年度「ゆとろぎ開館20周年企画」に向け、新たな事業企画を検討する余裕ができた。鑑賞だけでなく、ワークショップ企画案など「次年度やりたいこと」が具体的に検討でき、春先からの実施スケジュールが調整できた。企画数は適正だったと考えている。
・今年度新会員が入会し、活動へ積極的に参加した上、意見を交わせるようになった。新しい考えが増えるとより良い企画が生まれるように思う。
・事務局や職員からも新しい視点、考え方、アイディアが出た1年だった。（公演鑑賞 Q&A の作成、アンケートから見た事務局のまとめなど）　それぞれの立場で意見が言える部会は風通しよく、また今後もより良い活動ができると考える。

【沖縄音楽ライブ in ゆとろぎ】
沖縄音楽企画をゆとろぎでは実施したことがないことを踏まえて、沖縄音楽ライブ情報を収集し、部員2名で下見に行った。演奏と舞踊、衣装など内容も良く観客受けもよかったため、沖縄の伝統芸能を知る機会でもあり、市民の関心も高いのではないかと思い、企画提案した。その予想は的中し、チケットは完売した。当日、出演者2名の三線、舞踊の評判が良く、アンケート結果からも満足度が高く、「また観たい」という声が圧倒的だった。]

【ゆとろぎ想ひ出の映画鑑】
　25回「太陽がいっぱい」アランドロン出演の名作は、年月が経ても色あせることなく、来場者は楽しまれていた。夏の暑いときだったが170名を超える来場者数で、人気の高さがうかがわれる。入場時に映画音楽 BGM を流した。
　26回「Shall　we　ダンス？」は、想ひ出の映画鑑としては新しい年代作品の分類に入ると思われる。それでも来場者数が110名を超えたことから、ニーズがあることが分かった。今後の参考と

したい。11月は事前の周知(掲示板でポスター掲示)や、他の事業と重なることがあるため、時期を検討したい。

【子どもフェスティバル】
今年度から運営体制、日程など変更があるかもしれないといわれていたが、実行委員会の編成に変更があったのみで、例年通りの実施となった。アトラクション、伝統文化教室発表、工作教室、あそびのコーナーなど、2日間子どもたちや家族連れでにぎわった。また、市民の会による企画「館内ナゾトキラリー」は好評で、子どもが繰り返し参加するなど楽しんでいた。ゆとろぎロビーのガラス面にマスキングテープで絵を描くワークショップも好評で、作品は年末まで飾られた。2日目の交流広場でのアトラクション鑑賞は、小雨の影響で館内ロビーでの実施となった。天候により急遽変更することとなり、準備が後手に回った。
館内で実施する際に準備するものなども事前に確認が必要だった。

【落語体験ワークショップ】
落語芸術協会の協力で落語を知る、親しむワークショップを開催した。寄席太鼓など普段触れることのないものを体験することができて、参加者には喜んでいただけた。レセプションホールで、小ホール以上に身近に落語を聞いていただいたが、机の配置に考慮が必要だった。

【HANDSIGN ライブ】
2025年東京でデフリンピック開催もあり、聴覚障がいの方も楽しめるライブをと企画した。手話とダンスを融合させたライブに観客は盛り上がり、小ホールは熱気にあふれた。小学生から高齢の方、聴覚障害のある方、ない方もそれぞれが楽しまれていた。近隣在住でもゆとろぎ初来館という方、遠方からのお客様も多く、ゆとろぎを知っていただく機会となった。今まで企画したことのないジャンルだったので、最後までチケットの売れ行きなど不安もあったが、お客様の満足度は高く、特に聴覚障がいのある方や手話ボランティアの方などの「企画してくれてありがとう」の声は、心に響いた。チケット販売開始が2か月前と遅かったため、今後はもう2か月早く取り組む。

令和6年度　芸術鑑賞部会　事業実績一覧

	ジャンル	事業名 内容・出演者（敬称略）	実施日/会場	入場者数 (チケット数)	備　考（内容等）
A	映画	ゆとろぎ想ひ出の映画鑑 第25回 「太陽がいっぱい」	7月20日(土) 小ホール	179名　(205枚)	懐かしい映画上映をゆとろぎ市民の会独自の企画で映画の文化を広める。
		第26回 「Shall we ダンス？」	11月16日(土) 小ホール	117名　(188枚)	
A	イベント	子どもフェスティバル 市内小・中学生、高校生 各種協力団体、個人	11月9日（土） 10日（日） 全館 （含:交流ひろば）	11/9(土) 館内:926名 11/10(日) 館内:932名 ＜2日間＞	毎年恒例事業、実行委員会のへの参加「わくわくひろば」,「遊び体験」を全館・交流ひろばにて実施。
B	JPOP	HANDSIGN ライブ HANDSIGN SHINGO TATSU ダンサー 瑚(さんご) Kota(コータ)	2月22日(土) 小ホール	207名(207枚)	歌ダンス、手話という新しい表現方法で伝えるパフォーマー2人組
B	ゆとろぎライブ	沖縄音楽ライブ タケシィ（三線） Mika（琉球舞踊）	8月4日(日) 小ホール	227名(248枚)	三線の演奏と琉球舞踊により、沖縄の芸術文化を鑑賞して頂く。
B	ワークショップ	落語体験ワークショップ 橘ノ圓満	12月21日(土)	41名(50名)	日本の伝統芸能である落語の歴史や演じ方などを学び、ゆとろぎ寄席ファンを増やす。 1. 落語のいろはを解説。 2. 落語しぐさの実演、寄席囃子や太鼓の実演。 3. 語家の方による落語の実演。

A:例年事業　・　B:新規事業　※　市主催事業、共催事業への協力

＜令和６年度 事業実績（ポスター・チラシ）＞

【想ひ出の映画鑑】
7月20日(土)

【沖縄音楽ライブ】
8月4日(日

【子どもフェスティバル】
11月9日(土)・10日(日)

【想ひ出の映画鑑】
11月16日(土)

【落語体験ワークショップ】
12月21日(土)

【HANDSIGN ライブ】
２０２５年2月22日(土)

令和7年度実施計画

・ゆとろぎ開館 20 周年記念を踏まえ、 魅力ある企画を実施する。
・市民ニーズや興味関心の高い企画を検討する。コンサートや舞台鑑賞だけでなく、芸術鑑賞に関する学びや生涯学習へつながる機会とする。
・チラシやイベントガイド、SNS での情報の周知方法を工夫・効率化し、集客率アップを目指す。

◎定着している企画に加えて、新しいジャンルの企画や、市民のニーズを探りながら、他団体との連携なども視野に入れ、より幅広い多様性に富んだ企画を検討、運営していけるよう取り組む。また部員、担当職員、事務局と連携を密にして、事業を進めていく。そして来場者に満足いただけるように企画運営の準備をし、再び足を運んでいただける「ゆとろぎファン」を増やす努力をする。
◎生涯学習推進課だけでなく市役所や図書館との連携を図り、企画をより充実したものとする。

令和7年度　芸術鑑賞部会 事業計画一覧

	ジャンル	事業名	内容/出演者(敬称略)	実施日/会場	備　考
A	映画	ゆとろぎ想ひ出の映画鑑 ① 第27回 「ビルマの竪琴」 ② 第28回	名作映画を小ホールで上映。 楽器の生演奏など合わせて楽しんでいただき映画芸術に触れるとともに交流の場ともなっている。	① 8月16日(土) 小ホール ② 3月7日(土) 小ホール	近隣で実施していない懐かしい名画を上映して映画という芸術文化に触れていただく。 生演奏やコーラスもあり。 戦後80年式典の一環として上映。
A	イベント	子どもフェスティバル	青少年健全育成の日事業とあわせて毎年実施。 体験や鑑賞を経験して学区、学年をこえての交流の場となっている。	11月8日(土) 11月9日(日) ゆとろぎ全館・ ゆとろぎ前通り	子どもフェスティバル実行委員会主管 (特)子どもと文化のNPOこども劇場西多摩の協力による事業
A	イベント	ゆとろぎステージ体験	大ホールでスタインウェイを弾く。 参加者:一般の方	4月19日(土)	コロナで中止していたが、皆さんの要望により再開。
B	ワークショップ	演劇ワークショップ	小学4～6年生に、演じる楽しさを体験して頂く機会とする。 参加者:小学4～6年生	5月～7月の日曜日　全13回	劇を通じてコミュニケーション力の向上や個性を生かす。 メリーリボン演劇祭に参加する。
B	ライブ	超大型おんがく紙芝居ライブ	脚本・作画・演出: 諸橋精光 作曲・舞台監督: 桑原ゆう	9月7日(日) 小ホール	宮沢賢治原作の物語を中心に、紙芝居の絵と、語り手、演奏家が130cmka×90cmの大型紙芝居の世界を表現。

※ A:例年事業計画　・　B:新規事業計画　※ 市主催事業、共催事業への協力

令和6年度(2024年度)
学習文化部会
事業報告

令和6年度　事業実績
令和7年度　事業計画

令和６年度（2024 年度）をふり返って

- ◆ 今年度（2024 年度）は７企画を市民に提供
- ◆ 羽村市生涯学習基本計画にそった活動に努力
- ◆ 21 世紀の社会を生きるために、羽村市民として必要不可欠な科学・技術の最先端の知識を易しく学ぶ「生成 AI が社会を激変させる・・・生成 AI の種類と社会に与えるインパクト」「家庭における正しい食品衛生管理 …食中毒のしくみと食品表示の見方」の２講座を提供
- ◆ 戦後世代の方は戦前の社会について十分な教育を受けずに社会に出て生活して来ました。このため生涯学習として近現代史講座を開設し第 2 回「日本の近・現代史と食文化・・・おいしい食の流行史」を提供
- ◆ 子どもたちに夢と創造力を育てる夏休み子ども講座「ゴムの力を使った工作教室Ⅱ」を提供
- ◆ わが街 羽村を知るシリーズは 2010 年から始まり毎年、工場見学会と出前講座で８社を紹介してきました。昨年度から出前講座で毎年 2 社ずつ紹介しています。今年度はわが街羽村を知るシリーズ 企業出前講座篇「東成エロクトロビーム株式会社」「日都産業株式会社」を提供
- ◆ 文学芸術分野では、ゆとろぎ文学講座 近・現代編 「川端康成の代表作『雪国』を読み解く」を羽村市民に紹介

令和６年度 学習文化部会講座 企画

講座名	実施日	募集人数	申込人数	参加者数
ゆとろぎ文学講座 近現代編「川端康成の代表作『雪国』を読み解く	5 月 25 日（土） 6 月 8 日（土）	50	27	24
ゆとろぎ近・現代史講座 「日本の近・現代史と食文化・・・おいしい食の流行史」	6 月 22 日（土）	50	29	26
夏休み子ども講座「ゴムの力を使った工作教室Ⅱ」	8 月 3 日（土）	20	24	19
ゆとろぎ先端テクノロジー講座「生成 AI が社会を激変させる…生成 AI の種類と社会に与えるインパクト」	9 月 28 日（土）	50	48	45
ゆとろぎ経済講座「岐路に立つ日本経済と日本銀行…日銀は私たちの生活にどうかかわっているのか？」	10 月 6 日（日）	50	35	29
わが街 羽村を知るシリーズ出前講座篇 「日都産業（株）/東成エレクトロビーム（株）」	11 月 24 日（日）	50	32	28
ゆとろぎ身近なサイエンス講座「家庭における正しい食品衛生管理…食中毒のしくみと食品表示の見方」	12 月 14 日（日）	50	31	21
ゆとろぎ経済講座」証券編 「証券・貯蓄の基礎と老後の資産管理」～証券と貯蓄の基礎をよく知って、自分で作る資産計画「新 NISA」を考える～	2 月 9 日（日）	50	49	49
大人の学び直し講座 「くらしに役立つ中学数学の面白さ」	2 月 16 日（日）	50	54	46

写真で紹介

近・現代編「川端康成の代表作『雪国』を読み解く」

ゆとろぎ近・現代史講座「日本の近・現代史と食文化・・・おいしい食の流行史」

夏休み子ども講座「ゴムの力を使った工作教室Ⅱ」

ゆとろぎ先端テクノロジー講座「生成AIが社会を激変させる…生成AIの種類と社会に与えるインパクト」

ゆとろぎ経済講座「岐路に立つ日本経済と日本銀行…日銀は私たちの生活にどうかかわっているのか？」

わが街 羽村を知るシリーズ出前講座篇「東成エレクトロビーム（株）」

わが街 羽村を知る
シリーズ出前講座
篇「日都産業（株）」

ゆとろぎ経済講座　証券
篇「証券と貯蓄の基礎と
老後の資産管理」

大人の学び直し講座
もう一度中学数学

6

令和7年度（2025）
学習文化事業企画について

【講座企画の基本的な考え】

1．現在の部会メンバーで、実施できる範囲で行う

2．講座は、4分類を均等に開催する。
例年どおりの「暮らし・生活」「芸術・趣味」「学習・教養」「地域・社会」の4分類とする

令和7年度学習文化事業企画の目標

- 羽村市生涯学習基本計画にそった活動に努力
- 21世紀の社会を生きるために、羽村市民に必要不可欠な知識の習得、科学・技術の最先端と文化を易しく学べる講座
- 子どもたちの未来を展望し夢を与える講座
- 新しい分野への挑戦 として、健康講座「癌はなぜ発生するのか？」、環境問題として「強まる地球温暖化と食糧・米・・・いま私達が考えること」を開講
- 羽村には多数の優れた大・中・小企業が存在しています。今年も2社出前講座で紹介します

令和7年度　学習文化部会講座企画

講座名	実施予定日	募集人数	講師予定	肩書
ゆとろぎ人権講座「どうする！いじめ、不登校、子供の貧困・・・子どもを取り巻く課題を子どもの権利条約から探る」	5月24日(土)	50	鳥塚早葵(トリヅカサキ)さん	専門職
ゆとろぎ文学講座　近・現代篇　谷崎潤一郎『春琴抄』を味読する・・・谷崎の生涯と谷崎文学の美しさを学ぶ	6月29日(日) 7月6日(日)	50	山口政幸(ヤマグチマサユキ)	大学教授
夏休み子ども講座 画家の酢平☆(スッペ)さんと一緒に丸だけで描いてみよう！	8月2日(土)	20	酢平☆(スッペ)	作家
わが街再発見シリーズ 市内の寺社仏閣、名勝・旧跡などを知ろう	調整中			
ゆとろぎ身近なサイエンス講座 「新型コロナ後の感染症に備える…溶連菌、帯状疱疹を学ぶ」	調整中			
ゆとろぎ経済講座3　財政篇「財政はわたしたちの生活とどうかかわっているのか？・・・日本の財政のしくみと現状を学ぶ」	調整中			
ゆとろぎ近・現代史講座 「日本電力業の発展で産業・国民生活はどう変貌してきたか？	調整中			
ゆとろぎ先端テクノロジー講座　「クルマはここまで進化している・・・電動化・自動化・安全運転化の現在」	調整中			
わが街羽村を知るシリーズ企業出前講座	調整中			
環境問題「地球沸騰化　いま私達が考えること」	調整中			
癌はなぜ発生するのか？ ＝その発生の仕組みの理解と予防・治療の最新情報を知る＝	調整中			

令和6年度(2024年度)
展示部会
事業報告

令和6年度　事業実績
令和7年度　事業計画

令和６年度 展示部会事業実績

「総括」

・今年度は春と秋が短い年であったが入廊者も減少することなく全事業を予定通り開催することが出来た。
また、特記事項として保育園や幼稚園、高校生、自立支援センター、高齢者デイサービスの皆さんが団体で鑑賞に来られたことが挙げられる。小さいお子さんから高齢の方まで皆さんアート鑑賞を楽しんで下さり、部会のコンセプトである「アートのあるまちづくり」の間口の広がりを感じた。
そして、入廊者に対するアンケート数率が、部会員及び関係者の努力でここ数年伸びてきているので良い傾向にある。

１）「23rd アート in はむら展」

・65 名の作家さんから平面及び立体作品の出展があり、展示室だけでなく全館を使用して展示した。
・会期中に子どものためのワークショップ、わくわく鑑賞ツアー、対話によるわくわく鑑賞ナイト、アーティストトークを実施して作家と市民の交流する機会の拡大を図った。
・新たな試みとして「アート in はむら展の成り立ち」を掲示し事業の理解を深めていただいた。初めてゆとろぎに来た人への対応として、拡大した「会場案内図」「矢印」などを掲示し何れも好評であった。
・高齢者デイサービスからグループで鑑賞に来られ、とても楽しそうな様子が印象的であった。鑑賞教室と同じ時間帯の時もあり、小学生とあいさつを交わすなど交流もありとても良かった。

２）「津田のぼるの缶ものがたり」

・アンデルセン童話（雪の女王、裸の王様など）をモチーフに、全て空き缶、王冠で作られたお城や塔などの建物をはじめ人や妖精、動物、乗り物、飛行船などをゆとろぎの広い展示室一杯に展示した。
・建物や飛行船などの大きな作品は中から照明を照らしたので展示室全体が幻想的な空間に一変し、入廊者は一様に感嘆の声をあげていた。
・ほとんど毎日のように作家が来て下さり来廊した方々に丁寧に対応してくださりお人柄の良さと作品への熱意を感じた。
・開催期間中は台風や猛暑などで外出控えの状況下にあったが入廊者数は目標を上回り、アートの人の心を惹きつける力を強く感じた。
・ギャラリートークは空き缶のリサイクルと創作が響きあって、様々な広がりが生まれる缶響造形への理解を一層深めることが出来、大変好評でした。
・ワークショップは小学生を対象にアルミの空き缶でペンギンなどの動物を作った。完成した作品はいずれも独創的で素晴らしい出来栄えであった。

３）「たしろちさと絵本原画展」

・水彩絵の具や色鉛筆で描く、柔らかく温かみのある色合いと繊細なタッチの原画に入廊者は皆さん魅せられ「可愛い、温かい、楽しい」など心癒されていた。
・保育園や自立センターの皆さんが団体で鑑賞に来られた。原画一点一点を嬉しそうに楽しそうに魅入っている様子が印象的であった。
・会場入口の装飾がとても評判が良かった。沢山のカメレオンの絵（オブジェ）を貼り付けて装飾したことで、ゆとろぎ来館者の関心を引き付けた。
・会期中に開催された図書館主催の児童文学講演会に協力した。講演会では、たしろちさとさんの読み聞かせの実演もあってとても楽しく大盛況であった。

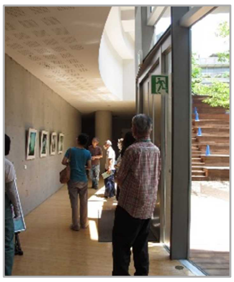
４）「ゆとろぎ美術館」

・第 49 期は貴俵秀行さんの灯りをテーマにした作品で、インパクトがあり発想が素晴らしいとの感想も多く来館者の目を惹いた。
・第 50 期は片山憲二さんの木版画の作品で、版画とは思えないほど立体感があり素晴らしいとの感想が多くあった。
・第 51 期は鈴木未都さんが紙、吉永優子さんが毛糸を素材とした立体作品で魅力的で迫力もあり、注目を集めた。

令和６年度 展示部会事業実施一覧

NO	事業名	実施期間	入廊者数	作家・講師・内容等
1	23rd アート in はむら展	6/25(火) ～7/7(日)	展示室　　1,962 名 創作室Ⅰ　1,423 名 アンケート　136 枚	西多摩における現代アートの鑑賞の機会として、展示室だけでなく屋上・創作室Ⅰ・2F・1F・地下など、ゆとろぎ施設全体を使用して展示した。
	アーティストトーク	7/1(土)	50 名	出展作家による作品解説と意見交換 （見学自由）
	対話による わくわく鑑賞ナイト	7/1(土)	14 名	講師：石垣文子氏 高校生以上を対象に、対話による鑑賞を実施した。
	ワークショップ	7/8(土)	21 名	講師：堅川可奈氏　幼児から小学生を対象にペーパーアートワークで、いろいろな楽しい動物を作った。
	わくわく鑑賞ツアー	7/9(日)	8 名	講師：原田丕氏 作家の説明を聞きながら、館内展示場所を回った。
	鑑賞教室	6/26(水) ～7/5(金)	404 名	講師：鈴木斉氏・原田丕氏 市内の小学４年生を対象とした鑑賞教室に協力した。
2	津田のぼるの 缶ものがたり	8/28(木) ～9/8(日)	入廊者数　1,429 名 アンケート　147 枚	津田のぼる氏が「缶響（かんきょう）造形」と名付けた空き缶を素材とした作品を展示した。
	ワークショップ	9/2(土)	9 名	講師：津田のぼる氏　小学生を対象にアルミの空き缶でペンギン等のおもしろ動物を作った。
	ギャラリートーク	9/7(土)	25 名	講師：津田のぼる氏 缶響造形と名付けた経緯や作品への思いをお話しいただいた。
3	たしろちさと絵本原画展 （図書館との連携事業）	1/22(水) ～2/2(日)	入廊者数　1,217 名 アンケート　254 枚	たしろちさと氏　絵本作家　水彩絵の具と色鉛筆で描く、柔らかく温かみのある色合いと繊細なタッチが特徴的 「ぼくはカメレオン」「くんくんいいにおい」の原画を展示した。
	児童文学講演会	1/26(日)	50 名	講師:たしろちさと氏　図書館主催の児童文学講演会「絵本が出来るまで」の実施に協力した。
4	ゆとろぎ美術館	49 期 5 月～6 月		貴俵秀行 Light and Light 展（灯りをテーマとした作品） 1F ロビー、2F 廊下に展示
		50 期 11 月～12 月		片山憲二木版画展（木版画作品） 1F ロビー、2F 廊下に展示
		51 期 2 月～3 月		鈴木未都・吉永優子展（前者は紙、後者は毛糸を素材とした作品） 1F ロビー、2F 廊下に展示

「23rd アート in はむら展」

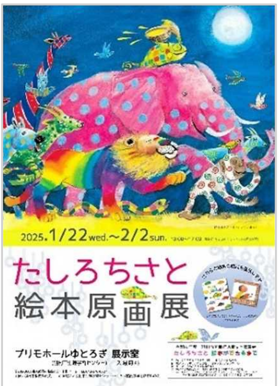


「ポスター」 「ワークショップ ～ペーパーワークで動物をつくろう！～」 「対話によるわくわく鑑賞ナイト」 「わくわく鑑賞ツアー」

「津田のぼるの缶ものがたり展」 ～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

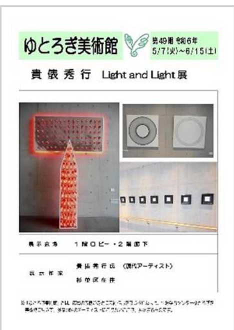
「ポスター」 「ワークショップ 空き缶でおもしろ動物をつくろう」 「会場風景」 「ギャラリートーク」

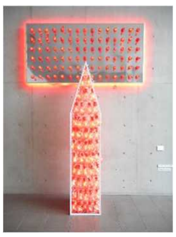
「たしろちさと絵本原画展」 ～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～



「ポスター」 「鑑賞風景」 「児童文学講演会」

「ゆとろぎ美術館　第 49 期・第 50 期・第 51 期」 ～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～





「第 49 期 貴俵秀行 Light and Light 展」 「第 50 期 片山憲二 木版画展」 「第 51 期 鈴木未都・吉永優子-紙と編み-展」

令和７年度展示部会事業企画にあたって

展示する作品・作家の選択は、近郊の住人・中央で活躍実績のある作家・作品のジャンルが重複しない等の条件の下、作家個人の展示情報をもとに部会員が作品を実際に観た結果を討議して決定する。

１）「２4th アート in はむら展」

アートのあるまち羽村を目指して、子どもから大人まで身近に芸術作品に触れ、鑑賞の楽しさを体験することによりアートに親しんでいただく。ゆとろぎ全館を使用した豊富な作品展示に加えて、「ワークショップ」、「わくわく鑑賞ツアー」、「対話によるわくわく鑑賞ナイト」「アーティストトーク」、市内の小学４年生を対象とした「鑑賞教室」の実施等、多彩な内容が組み込まれている。また、令和７年度は「ゆとろぎ開館 20 周年」に当たるので、従来より更に楽しんでいただくため「わくわく鑑賞ツアー」にウクレレ演奏を加える等の工夫を行っている。企画運営や出展に TAC ネットワークの皆様にご尽力いただいている。

２）「刀根里衣絵本原画展」

子どもから大人まで幅広い層に愛されている刀根里衣さんの幻想的で繊細な絵本の世界を原画の展示で楽しんで頂き、原画の素晴らしさを実感して頂く。
「ぴっぽのたび」「うさぎじかん」「きみへのおくりもの」「なんにもできなかったとり」「コリスくんのかみひこうき」等の絵本の原画の展示を予定している。

３）「中山みどりフェルトアート展（仮称）」

羊毛を素材としたフェルトアート作品を展示する。まるで生きているかのように表情豊かな動物を創り出すフェルトアート作家中山みどりさんのほっこりする作品を展示する。

４）「ゆとろぎ美術館」【第５２期・第５３期・第５４期】

ゆとろぎ館内を美術館に見立て、主に多摩地域のプロのアーティストの皆様にご協力をいただいて作品を展示し、長期に亘ってアートを身近に鑑賞できるようにする。第 52 期はゆとろぎ所蔵作品（中根喜七郎氏寄贈）の中から花をテーマに選定した絵画作品を展示する。第 53 期と第 54 期はプロのアーティストに依頼した美術作品を展示する。

令和７年度展示部会事業計画

NO	事業名	出展者	展示期間
1	24th アート in はむら展 （ゆとろぎ開館 20 周年記念）	TAC ネットワーク作家 他、現代アート作家	6/24(火)～7/6(日)
2	刀根里衣絵本原画展 （ゆとろぎ開館 20 周年記念特別事業）	刀根 里衣氏	8/27(水)～9/13(土)
3	中山みどりフェルトアート展（仮） （ゆとろぎ開館 20 周年記念特別事業）	中山 みどり氏	2026 年 2/4(水)～2/15(日)
4	ゆとろぎ美術館　52 期 53 期 54 期	ゆとろぎ所蔵作品 候補作家 候補作家	5 月・6 月 11 月・12 月 2 月・3 月

令和6年度(2024年度)
情報発信部会
事業報告

令和6年度　事業実績
令和7年度　事業計画

令和６年度（2024年度）事業実績

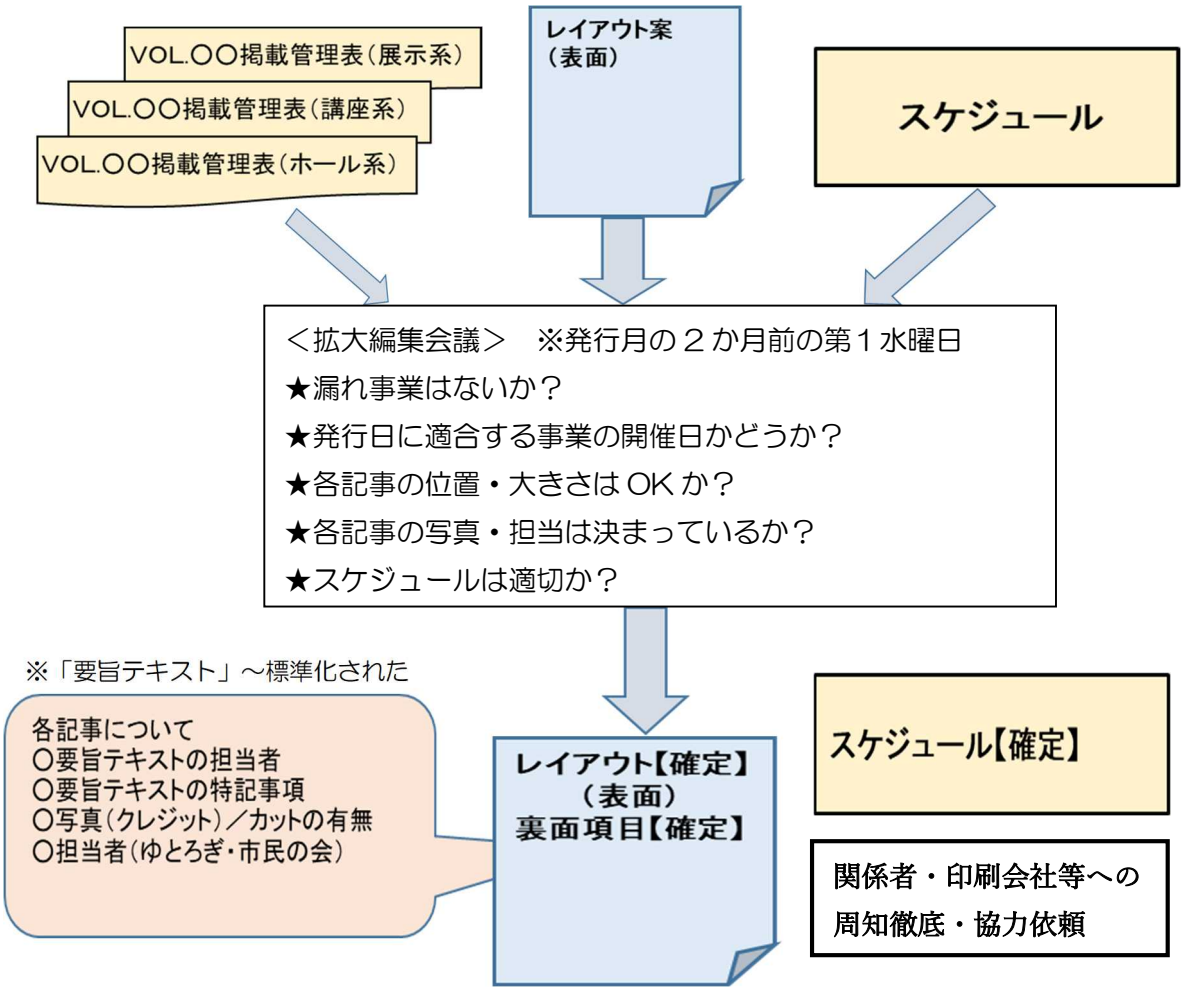
１．拡大編集会議～「ゆとろぎイベントガイド」の企画・運営（連続年度の活動）

「拡大編集会議」は、「ゆとろぎイベントガイド」(年６回偶数月発行)を作成する会議である。「ゆとろぎイベントガイド」は、広報紙であるとともに、４事業部会の広報活動と位置づけ、各事業の進捗管理に役立っており、また４事業部会間の情報共有を図る機会でもある。

１.１　協働形式による計画的な推進を図る

- 芸術鑑賞部会、学習文化部会、展示部会、情報発信部会、生涯学習推進課、文化協会との連携
- 掲載事業の事前洗い出し徹底
- 全事業の広報活動の共有化
- 全事業の開催順序、有料/無料の区分の明確化　⇒表面レイアウト
- 集客度アップの必要な事業の重点化　⇒表面レイアウト
- 各企画事業のスケジュール管理における共有化　⇒裏面レイアウト

「拡大編集会議」は上記の内容を、発行月の２ヵ月前に開催している。
目的・狙い・進め方・推進体制等について、図式表記すると以下の様な関係になる。



1.2「広報はむら」への掲載

緊急を要する事業や集客を高めたい事業等は、「広報はむら」に掲載し、広報強化を図る。

1.3 スケジュール管理徹底による納期確保

●掲載一覧表で掲載事業に漏れがないか確認し、概略レイアウトを作成し拡大編集会議で決定する。その後提出された「要旨テキスト」で記載内容に漏れがないか確認し、更に校閲会議で確認し、印刷会社に提出する。

素材データの品質を高める為、両面「要旨テキスト」を運用している。提出された要旨テキストを校閲会議で確認し合い、より適正で魅力的な原稿に仕上げている。

●印刷会社で詳細レイアウトデザイン行う。初校が作成された後、関係者に校正して頂き、さらに校正会議にて校正精度を高める。

⇒専門デザイナーによる魅力度アップ、集客度のより高揚、市内配付の納期確保

※以前、理事者までの原稿チェックを行ってきたが、現在はセンター長までとなり、以前よりスケジュール的に余裕が出てきた。

1.4 申込フォームの導入

電話申込を軽減するため、イベントガイドに申込フォーム（二次元バーコード）掲載するようにした。但し「申込フォームの利用が難しい方は電話でお申込みください」の一文あるので混乱はない。

1.5 「ゆとろぎイベントガイド」と「各事業チラシ」の印刷・ネット掲載

【イベントガイド印刷版】

令和６年度：偶数月 15 日に発行（年間６回）

部数～各回：37,200 部発行（内 26,400 部:市内全戸配布）

形式～Ａ３判　表面フルカラー／協働・主催・共催・文化協会等の事業

裏面モノクロ／広報依頼者からのイベント全般（含：一般利用）

【Web 版】

・「ゆとろぎイベントガイド」（【印刷物】に連動）⇒市役所 HP（ゆとろぎ管理）

・「イベント情報」：各イベント情報・チラシ　⇒市役所 HP（ゆとろぎ管理）

【アーカイブ保管】

・平成 18 年から現在までの各種情報（イベントガイド・各事業チラシ）

⇒市民の会レンタルサーバ（さくら）のアーカイブページ（２回更新/年間）

2.「かわら版」（不定期発行）

平成 29 年１月から、市民の会の活動を市民の方々に知って頂くために、「かわら版」を不定期で発行しており、Web 発信（レンタルサーバー:yutorogi.jp）、館内の広報ラックに配架（事務室印刷・カラー・少量印刷）している。継続的に取り組んでいる活動であり、目的・主旨は以下の通りである。

・活動事業の実績／予定の周知（各事業の見どころ、実施後の事業評価・お客様の満足度等）

・市民の会メンバー活動の紹介（各事業の裏で活動している市民の会会員の記載）
・市民の会活動の記録
・モチベーションの維持・向上（企画者の達成感・遣り甲斐・レベルアップ等）
・新規会員獲得

「かわら版」の発行承認は、市民の会とゆとろぎの間で数年話合いを重ねた結果、「事業内容（開催前の広報記事または開催後の事業実績）とその中での市民の会活動」を発行（紙ベース、WEB サイト掲載）してもよいとの承認を得たものである。よって、「かわら版」を積極的に活用することが大切と考える。３事業部会におかれては、事業を企画・運用するだけで精一杯かもしれないが、かわら版を通して市民の会活動を多くの市民に知って頂くために是非取り組んで頂きたい。情報発信部会としても、発行出来るように協力・支援をしていきたい。

令和６年度計画では、芸術鑑賞部会、学習文化部会、展示部会の事業について、各部１回（最少限、余裕あれば複数回）、合計３回以上とした。

令和６年度実績として、以下の３号を発行した。

① 学習文化部会　【第１２号】近・現代史講座
日本の近・現代史と食文化・・・おいしい食の流行史
【第１３号】大人の学び直し講座、くらしに役立つ中学数学の面白さ
② 芸術鑑賞部会　【第１４号】HANDSIGN ライブ、～手話ｘ音楽の世界を体感しよう～

３．一般市民向け「事業報告書」の WEB サイト掲載

令和５年度から、事業報告書を一般市民の方々が閲覧できるように、WEB サイト「かわら版」に追加添付した。なお、この事業報告書は「令和４年度事業報告書」から掲載し、それ以降も継続的に掲載する予定である。

４．情報発信部会のサポート GR への移行フォロー

ゆとろぎが開館してから、情報発信部会の活動の中に「イベントガイドの制作」があった。これは専門性があり、単独活動としては「仕事」並みの負荷がかかる活動であった。これに関わっていた要員が辞めた為、平成 27 年度から現在までは、イベントガイドの「掲載事業の洗い出しや基本レイアウト」は事務局が行い、「詳細デザイン・印刷・搬送」は民間企業へ外注化した。この一連の活動では、情報発信部会管轄の「拡大編集会議」をスタートとし、掲載記事の洗い出し、スケジュール管理、外注先との窓口、さらには関係者との校正データのまとめ等を事務局と生涯学習推進課で進めている。

このイベントガイドの制作（印刷・搬送以外）を取り組みとして、情報発信部会を「サポート GR 化（有償）」して新たな会員を募集することを 2023 年の２月にゆとろぎに提案したが、その回答として有償化することで情報発信部会が活性化するかと投げかけられた。「サポート GR 化（有償）」≒「イベントガイド制作（有償化 GR）」が情報発信部会を活性化する方法なのか話し合っている。

以下、部会で話し合った内容の要約を以下に示す。

2024 年５月８日（木）第１回情報発信部会

部会員の意見を整理すると以下である。

１，編集レイアウトの仕事は、無償ボランティアの域を越えた賃労働の対象である。
編集レイアウトとは、事務局が行っている「掲載事業の洗い出しや基本デザイン」と、印刷会社が行っている「詳細デザイン」までを示す。

２，現在の情報発信部会は会員が少ないので、会員の増強を図りたい。

３，情報発信部会員を有償ボランティアとして募集（募集条件は、DTP ソフトでの数年以上の経験者）し、応募者へは一定の研修制度を設ける。

2024 年 11 月 14 日（木）第２回情報発信部会

編集レイアウトを有償ボランティア化したとしても、専門的な作業集団になり、情報発信部会の活性化につながるとは思えないとの意見や現状の事務局が行っている部分と印刷業者が行っている部分を有償ボランティアに移すメリットが見えにくいとの意見が多かった。結論に至っていない。

また、会員の増強に関しては、広報はむらに情報発信部会の会員募集を掲載する提案があり、実施することになった。その他、NPO、会則、ホームページ等の話があった。

2024年 12 月１７日（火）第３回情報発信部会

情報発信部会の講座として、パーソナル編集長の講座開催の提案があったが、パーソナル編集長のソフトウェアを購入して頂くことになるので、一般市民向けには向かないとの意見が多く、実施は難しいとの判断から、提案取り下げとなった。

令和７年度（2025年度）事業計画

１．情報発信部会のサポートGRへの移行フォロー

部会員が少ないことや実務的な作業がないことから、サポートGRしてイベントガイドの印刷・搬送以外の業務を請け負うことで情報発信部会の活性化を考えていたが、イベントガイドの以外の業務を模索して行きたい。

特に、会員の増強は重要なので、これを重点にして行く。又、近年の情報化社会を見据えて情報発信部会の役割を見直して行きたい。

２．拡大編集会議～「ゆとろぎイベントガイド」の企画・運営（連続年度の活動）

偶数月に発行される「ゆとろぎイベントガイド」に関する活動は、従来と同じ考え方・進め方で実施する。３事業部会の企画事業をシームレスに進め、所定の事業スケジューリングを徹底し、イベントガイドの掲載情報収集・両面の記事割振り、数回に亘る校正、最終承認後の校了、印刷・配付フォローを継続的に実施する。なお、【印刷版】の発行部数について、令和６年度と同規模（各回37,200部）とする。

３．「かわら版」（不定期発行）

今年度の「かわら版」について、芸術鑑賞部会、学習文化部会、展示部会の事業について、各部１回（最少限、余裕あれば複数回）発行の支援をしたい。（合計３回以上）

令和6年度(2024年度)
レセプショニストの会
事業報告

令和6年度　事業実績
令和7年度　事業計画

令和６年度　　羽村レセプショニストの会　　活動実績のまとめ

＜令和６年度　　総事業数:46事業　　延従事人数291名＞

１ 羽村市・羽村市教育委員会主催事業（自治体連合主催・市民の会協働事業を含む
２ 一般主催事業（羽村市共催含む）
３ その他の活動（申請書が無い「子どもフェスティバル」を含む）

＊主催者から伺った入場者数

1. 羽村市・羽村市教育委員会主催事業（自治体連合主催 市民の会協働事業★ 含む）					
実施日	催事名	会場	従事者数	入場者数	
7 月 13 日～ 7 月 14 日	第 9 回 HAMURA メリーリボン演劇祭	小	6	636	
7 月 15 日	ひらけ！おはなしの扉～音で紡ぐアラビアンナイト～	小	7	200	
7 月 20 日	第 25 回ゆとろぎ想ひ出の映画鑑「太陽がいっぱい」★	小	3	179	
8 月 4 日	沖縄音楽ライブ in ゆとろぎ★	小	4	227	
8 月 10 日	子ども体験熟「サイエンスライブ」	大	10	380	
8 月 30 日	羽村ゆとろぎ寄席 特別公演	大	7	409	
9 月 1 日	宝くじふるさとワクワク劇場 in 羽村	大	9	449	
9 月 16 日	令和6年度 敬老のつどい	大	8	1,100	＊
9 月 29 日	第80回羽村ゆとろぎ寄席	小	4	111	
10 月 19 日～ 11 月 4 日	第 55 回羽村市文化祭	大・小	23	－	
11 月 3 日	伝統文化交流事業 in ゆとろぎ アイヌ文化体験	印刷室前	2	－	
11 月 4 日	伝統文化交流事業 in ゆとろぎ アイヌ文化体験	印刷室前	2	－	
11 月 16 日	第 26 回ゆとろぎ想ひ出の映画鑑「shall we ダンス？」★	小	3	117	
11 月 16 日	伝統文化交流事業 in ゆとろぎ アイヌ文化体験	ホワイエ	1	－	
11 月 16 日	NHK 主催展覧会「ハニワと土偶の近代」関連文化講演会	小	4	106	
11 月 17 日	アイヌ文化公演「ラマチ ウケシコロ」	大	12	729	
11 月 17 日	伝統文化交流事業 in ゆとろぎ アイヌ文化体験	ホワイエ	2	－	
11 月 30 日	第 81 回羽村ゆとろぎ寄席	小	4	115	
1 月 25 日	国立音楽大学連携コンサート「輝けるバロックの饗宴」	大	12	532	
2 月 22 日	HANDSIGN ライブ★	小	3	207	
2 月 23 日	羽村市高齢者クラブ連合会　ふれあい福祉大会	大	3	－	
2 月 24 日	第 55 回都民寄席 羽村公演	大	7	758	
3 月 1 日	第 82 回羽村ゆとろぎ寄席	小	4	123	
3 月 8 日～ 3 月 9 日	羽村市防災企画展	展示室	4	162	
	小計： 21事業		144	6,540	

アイヌ文化体験4日間は、1事業として計算

＊

2. 一般主催事業（羽村市共催含む）A43:E57A43:E5A43:E60					
実施日	催事名	会場	従事者数	入場者数	
4 月 16 日	(公財)青梅佐藤財団 国音大オケ・神津善行催事のチケット配布及び販売補佐	ロビー	7	－	
5 月 11 日	第 14 回国立音大オーケストラ演奏会	大	12	632	
5 月 17 日	チャリティーコンサート 希望への架け橋 Vol.23（無償）	小	3	150	＊
6 月 2 日	さやかﾊﾞﾚｴｽﾀｼﾞｵ第 11 回成果発表会	大	5	392	
6 月 8 日	(公財) 青梅佐藤財団「旅立つ妻に贈る音楽会」	大	12	667	
6 月 9 日	エルムンドとフラメンコの仲間たち	小	4	205	
6 月 16 日	第二十四回 東流をどりの会	大	3	263	
6 月 30 日	第 32 回羽村フィルハーモニー定期演奏会	大	5	600	
7 月 14 日	第53回 栗林バレエスタジオバレエ公演	大	5	269	
9 月 3 日	(公財)青梅佐藤財団 国音大オケ・ウィーンフーゴのチケット配付補佐	ロビー	4	－	
9 月 28 日	はむら女声コーラスコンサート	小	4	252	
10 月 3 日	(公財) 青梅佐藤財団 ニューイヤー・梯剛之ピアノチケット配布と販売補佐	ロビー	4	－	
10 月 5 日	(公財) 青梅佐藤財団第16回国立音大ブラスオルケスター演奏会	大	10	644	
10 月 12 日	(公財)青梅佐藤財団 ウィーン・フーゴ・ヴォルフ三重奏団	大	10	647	
10 月 14 日	シンフォニエッタ青梅定期演奏会	小	2	145	
11 月 2 日	はむらシニアフォークダンスの会 「司会」	交流広場	1	－	
11 月 23 日	三田りょう 新曲発表記念コンサート	大	6	146	
11 月 24 日	羽村フィルハーモニーオータムコンサート	大	5	480	＊
11 月 30 日	青梅市民合唱団 第 57回定期演奏会	大	6	424	
12 月 15 日	梯剛之ピアノリサイタル（多摩の青少年を育てる会）	大	7	451	
1 月 11 日	(公財)青梅佐藤財団 ニューイヤーコンサート 高橋多佳子＆椿三重奏団	大	10	648	
2 月 11 日	子ども国際交流音楽祭 交流コンサート	大	12	560	＊
2 月 15 日	国立音楽大学 マネージメント実習 修了演奏会	小	4	198	＊
2 月 23 日	栗林バレエスタジオ勉強会	小	2	100	
3 月 9 日	チャリティーコンサート 希望への架け橋 Vol.24（無償）	大	4	600	＊
	小計： 25事業		147	8,473	

３　その他の活動(運営委員会・市民の会・その他の活動)

定期総会の開催・運営員会 12 回・会報「おもてなし」1～6発行・フォローアップ研修実施

市民の会役員会出席・文化祭オープニングイベント懇親会参加・子フェスボランティア参加　など

【活動実績のまとめ】

令和 6 年度の総事業数は 46 件。 延従事者数は 291 名でした。 どちらも昨年に比べると減少となってしまいました。 特に貸館で予算を抑えるようになってきたためで、 これは致し方無いことだと私たちも思っております。 が、催事が満席になりそうなときやトラブルが予想される時には 「打合せ」時に 1 名増員などもお願いして、催事がトラブル無くスムーズに行われるようにご相談をさせていただくこともありました。 今後も、危険やトラブルが起こらないよう、お客様と主催者様に喜んで頂けるよう、おもてなしを続けて参ります。

昨年度、「全員が統括を経験する」という目標を立てておりました。 6 期生も徐々に、小ホール催事の統括サブから始めて、小ホール統括を経験。これから、大ホール催事の統括を目指します。

また、会で企画したフォローアップ研修にも多くの会員が参加。 開場準備の再確認や、暗い中でのご案内など、有意義な時間を持つことができました。 これからも研鑽を積んで参ります。

令和７年度活動計画

活動目標

・信頼されるレセプショニストをめざす。
・従事・研修を通して、レセプショニスト一人一人の資質向上をめざす。
・統括を中心に情報を共有し、チームワークで従事する。
・臨機応変に対応できるレセプショニストをめざす。

活動計画

・ゆとろぎで開催される依頼事業に従事する。
　　１　ゆとろぎ協働事業
　　２　羽村市主催・共催事業
　　３　一般主催事業
・スキルアップ研修を行う。
・７期生養成（令和８年度実施予定）の計画を立てる。
・マニュアルを更新する。
・その他
　（総会開催・運営委員会開催・市民の会役員会および報告会出席・会報「おもてなし」発行・文化祭オープニング式典参加・子どもフェスティバル等ボランティア活動・懇親会の実施等々）

【令和７年度の活動目標と計画】

令和７年度の活動目標は、今年度も同じです。この４つの目標を達成するために、今年度も頂いた催事では丁寧に対応し、お客様と主催者様の双方に喜んでいただけるよう努力して参ります。また、会員数が２８人から２４人に減少したため、今年度は「７期生養成」も計画に加えました。新しいメンバーの募集・研修（養成）計画を急いで考えたいと思います。
会員・市民の会事務局の皆様からもご意見を頂きながら計画して参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。そして、昨年できなかった「マニュアル」の更新も、養成研修に合わせて見直しをすすめます。

令和6年度(2024年度)
舞台サポート
事業報告

令和6年度　事業実績
令和7年度　事業計画

令和6年度　　舞台サポートグループ　活動実績

「成果と反省」

○　昨年に引き続き、リーフレットを用意してのPR活動や関係者への声掛けもしたが、各種事業や交流広場・貸館での催事においてもサポート依頼が無く、残念ながら活動実績は無かった。

○　メンバーの高齢化もあり、舞台設営、照明、音響等の研修もできなかった。

〜〜

令和7年度　舞台サポートグループ　活動計画と目標

① メンバーが少人数のため、大きくPR活動は出来ないが、講座や貸館事業、その他の事業で依頼があればサポート活動を実施したい。なお、各種の会議等で、舞台活動に関するニーズがありそうだと判断した場合、相手側に声掛けして活動の機会を探りたい。

各個人での市内外での舞台鑑賞研修を実施した場合は、そのつど報告を受け、記録として残して行く。

③ ゆとろぎ体験講座でバックステージツアーを検討中の為、実施されればスタッフとして参加する予定。ここ数年は依頼がないため、会員募集の舞台研修は計画しない。

「主な活動内容」

- 芸術鑑賞部会、他の部会の企画事業の中での活動
- 文化協会主催サロンコンサート（音響・照明　他）
- その他（貸館事業の舞台等のお手伝いのご依頼があった場合の対応他）

令和６年度(2024 年度)
植栽管理
事業報告

令和６年度　事業実績
令和７年度　事業計画

連続年度にわたる実績と計画

１．ゆとろぎの緑を創り続ける仲良し植栽管理メンバー

ゆとろぎ玄関から館内にポット花壇、館外の周囲の通り道の樹木・垣根・花壇、中２階、３階の植木庭、階段脇の花壇、屋上の芝生、植え込み、さらに近くの駐車場の草木を整え、道路・建物の清掃も行っています。樹木剪定(下右の写真)も行って、「ゆとろぎ通り」の緑を綺麗に彩どっています。

ゆとろぎ利用の市民だけでなく、通行する市民の皆さんにも「ゆとろぎ通り」の緑を鑑賞して気持ち良く感じる空間を提供することに努めています。

「ゆとろぎ通り」だけではなく、周辺にある駐車場の除草もゆとろぎ職員・事務局のメンバーとともに、取り組んでいます。

グループメンバー（上左の写真）は、お互いに連携し、作業計画を話し合い、作業分担を決め、チームワークを重んじながら仲良く活動しています。１回３時間の作業の中間に中休みを取り、作業の情報交換や親睦をする時間も楽しい一時です。そのため、事故なくスムーズに活動を行なっています。

特に、“見事な植栽のゆとろぎスポット”として、①ゆとろぎ通りの木々・テラス、②ゆとろぎ西側のウッド階段脇の「花壇」が知られています。

① ゆとろぎの木々・植庭

②ゆとろぎ西側のウッド階段脇の「花壇」

２．令和７年度事業計画

令和７年度も例年通り同じ活動を継続し、ゆとろぎの緑を創って保っていきたいと思っています。

月単位の植栽活動を次表にて示す。

月(前後)	活動内容
4 月	草取りが中心。 １階玄関、北側・西側ツツジ垣および花壇、1～3 階西側外階段脇の花壇（チューリップ)、屋上広場などの草刈りやその他館内植木鉢の植え替え、屋上芝刈りなど。
5 月	花壇の植え替え。 一昨年度は、有難いことに「サルビア、ベコニア、マリーゴールド」(計 480 鉢）が入荷したので、西側 1～3 階花壇に植え込んだ。昨年度は、掘り起こしていた球根を再び植えて補足した。今年度は数種類の花の入荷を期待している。
6 月～7 月	草刈り・剪定(一部)が中心。 植栽場所の他に、駐車場（第 2, 第 3, 第 4）の草取りも行う。駐車場の時にはゆとろぎ・図書館の職員等の応援も得る予定。尚、駐車場の草刈りは年 3 回実施予定。
8 月～11 月	低木剪定と草取りが中心。 ツツジ、ムラサキシキブ、ヤマブキ、アベリアなどの低木剪定（1 階, 3 階）や茶室庭園・屋上の草取り。屋上階段脇(2 か所)のこてまりの剪定、草取り。第１・３駐車場の草刈り。西側 1～3 階花壇（ウッド階段脇）にチューリップの植え込み予定（中学校の職場体験の学生さんと)。
１２月～2 月	ゆとろぎ周りの中木選定。 併せて、ゆとろぎ側の道路脇の木々(コナラ・クマササ)の剪定。 ⇒来シーズンへの期待～ 「ゆとろぎ通り」の新緑が目立ち、多くの市民に憩いの新緑となる。
3 月	高木剪定。 館内のキンモクセイ、モミジ、サルスベリ、コナラなどの高木剪定、その下のコグマザサ剪定。屋上の草取り。茶室の庭の木々の剪定。

令和6年度(2024年度)
保育サポート
事業報告

令和6年度　事業実績
令和7年度　事業計画

Ⅰ．令和６年度保育サポート事業報告

１．令和６年度事業計画の概要

（１）「子育てママのフリータイム」の運営（連続年度の活動）

子育て中の保護者の皆さまが図書館やゆとろぎを利用される間、ゆとろぎ保育室でお子さんを預かる。4月から3月、毎月第2水曜日、第4金曜日（計20回）の午前10時から12時に、1歳6ヶ月以上の未就学児のお子さんの保育サービスを継続して実施する。

（２）利用者増に向けた活動（単発、事業のＰＲ活動）

①「ゆとろぎ子どもフェスティバル」に参加

11月に実施予定の「ゆとろぎ子どもフェスティバル」事業に参加、ゆとろぎ保育室の PR をする。

内容は、対象となるお子さんに保育体験をしていただき、保育室を知って頂く。子どもフェスティバル開催日、開催時間内を限定として、費用は無料、１回30分間とする。

②保育室前の掲示板の活用

季節に合った飾りつけをし、保育室の PR、利用促進を図る。

２．令和６年度実績報告

（１）「子育てママのフリータイム」　実績（回数、人数の推移）

年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
実施回数	8	8	14	21	20
利用者数（延べ人数）	11	8	18	48	28

令和2年度「子育てママのフリータイム」事業としてスタートし5年目となり対象の方への周知として、ゆとろぎイベントガイド、広報はむらへの掲載など PR 活動に力を入れた年であった。

利用者の特徴として初めてのご利用が多かった。初心者の利用の促進としては二次元コードから申込みとキャンセルが可能となったこと、利用料の支払いが利用当日としたことなどが考えられる。

（２）利用者増に向けた活動（単発、事業のＰＲ活動）

①「ゆとろぎ子どもフェスティバル」に参加

【計画】11/10(日)：定員４人×5回　　【実績】11/10(日)12人

【保育士からの意見、感想】見学されていた方もいてママフリーの楽しい PR になった。30分では遊び足りないのか２回参加したお子さんもいた。１歳3か月のお子さんを連れた親が1歳半になったら利用したいと言っていた。親から離れられず、体験できなかった子もいたので次回に向けて、親子一緒で体験することも検討したい。

②保育室前の掲示板の活用

夏の飾り、冬の飾りなどを施した。良かったかどうかの反響については把握出来ていない。

３．成果、課題

【成果】

・リピーターの利用と、利用者からの口コミで広まっている。
・二次元バーコードの利用促進を行った。これまで窓口で対応していた申し込み、キャンセルについて自宅で行えるようにしたことで初めての方の利用が増えた。
・年間の実施計画と担当保育士を年度当初に決めたこと、また、実施日の１週間前と前日に予約状況をメール配信することをルール化したことで、スムーズな運営が出来た。

【課題】

・「子育てママのフリータイム」となって5年が経過し、アットホームな雰囲気で運営されて

いるが、保育士と事務局、職員との情報交換の機会が無いため課題が見えにくい。
・予算の減額などを踏まえた事業計画の見直し。
・利用者の声を聞く機会が無い。

「豊富な遊具とガラス戸越しの
緑に囲まれた清潔な保育室」

Ⅱ．令和７年度事業計画

１．「子育てママのフリータイム」（連続年度の活動）22回開催を予定
２．利用者増に向けた活動の検討
３．関係者（保育士、事務局、担当職員）による意見交換会実施の検討
４．利用者アンケートの実施の検討

ゆとろぎ協働事業運営市民の会役員名簿

2025年4月1日現在

	2025（令和7）年度		2024（令和6）年度	
役　職	氏名（敬称略）	選　出　部　署	氏名（敬称略）	選　出　部　署
会　　長	石川　千寿	芸術鑑賞部会代表	石川　千寿	芸術鑑賞部会代表
副　会　長	橋本 久美子	文化協会副会長	橋本 久美子	文化協会副会長　（新任）
	長尾　晃	学習・文化部会代表	長尾　晃	学習・文化部会代表
役　　員	石川　千寿	芸術鑑賞部会代表	石川　千寿	芸術鑑賞部会代表
	井上　寛子	芸術鑑賞部会副代表	井上　寛子	芸術鑑賞部会副代表
	長尾　晃	学習・文化部会代表	長尾　晃	学習・文化部会代表
	渡辺　祐治	学習・文化部会副代表	渡辺　祐治	学習・文化部会副代表
	石田　英樹	展示部会代表	小林　順一郎	展示部会代表
	小林　順一郎	展示部会副代表	石田　英樹	展示部会副代表
	古川　光昭	展示部会副代表	古川　光昭	展示部会副代表
	神垣　政治	情報発信部会代表 （事務局兼任）	神垣　政治	情報発信部会代表　（新任） （事務局兼任）
	堀　茂子	情報発信部会副代表 （事務局兼任）	堀　茂子	情報発信部会副代表 （事務局兼任）
	石戸谷　恵子	レセプショニストの会代表	石戸谷　恵子	レセプショニストの会代表
	岡　あけみ	レセプショニストの会副代表	岡　あけみ	レセプショニストの会副代表
	田中　浩子	レセプショニストの会副代表	太田　弥生	レセプショニストの会副代表
	井上　寛子	舞台サポート代表	井上　寛子	舞台サポート代表
	菊地　勇	植栽管理代表	菊地　勇	植栽管理代表
事　務　局	神垣　政治	事務局長	神垣　政治	事務局長（新任）
監　　事	関沢　和代	展示部会	渡辺　祐治	学習文化部会
	河津　規美子	レセプショニストの会	中島　智子	レセプショニストの会

選 出 組 織

羽村市文化協会	副会長
ゆとろぎ市民の会 事業グループ	芸術鑑賞部会
	学習･文化部会
	展示部会
	情報発信部会
ゆとろぎ市民の会 サポートグループ	レセプショニストの会
	舞台操作
	植栽管理

※「保育」は「子育てママのフリータイム」のみとし、事務局業務とする。